（様式1）

学校番号	60	学校名	茨城県立藤代高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・教育諸法規
・学習指導要領
・本県教育目標
・学校教育指導方針

校訓

みずからの力を信じ　社会の中の人間として
たゆまず真理を求めよう

学校の教育目標

1　確かな学力の涵養
2　一人一人に寄り添った進路指導の充実
3　豊かな心及び道徳的実践力の育成
4　開かれた学校づくり
5　学校における働き方改革の推進
6　教科及び学校の授業改善の推進

生徒の実態

在校生の約99%が進学を希望しており、明るく和やかな雰囲気の中で、毎日の学習活動に意欲的に励んでいる。部活動加入率は約70%を越え、甲子園出場経験のある野球部をはじめとして、各部とも文武両道の実現に向けて活発に活動している。また、大半の生徒は基本的生活習慣が確立し、落ち着きがある。

保護者の願い

希望の進路を実現することや、部活動・国際教育その他の分野において、存在感のある学校になってほしいという期待が大きい。

道徳教育重点目標

1　個性の伸長に努め、価値ある人生を追求する。
2　それぞれの個性や立場を尊重し、寛容と謙虚の心をもって接する。
3　自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。
4　世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の福祉に貢献する。

地域の実態

首都圏への玄関口である取手市の北部に位置し、市街地から離れた国道6号線沿いの緑豊かで静かな田園地帯の中にあり、学習環境に恵まれている。

各教科・科目

国語	話すこと・書くことを通して視野を広げながら、心情を豊かにし、より良い人間形成を図る。
地歴	歴史的事象・地理的環境への認識を深めることで、国際社会を主体的に生きる自覚・資質を養う。
数学	数学的活動を通じて論理的な思考力の育成を図るとともに、物事を客観的に判断する力を養う。
理科	自然に対する関心や探究心、自然の事物・現象への理解を深め、科学的な自然観を育成する。
保体	心と体を一体として捉え、生涯にわたり自らや集団の健康・安全を適切に管理する能力を培う。
芸術	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て、感性を高めることで望ましい人格の完成を目指す。
外国語	異文化を理解・尊重するとともに、自ら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	家族の意義や生活に必要な知識・技術を習得し、家庭生活を創造する実践的な態度を育成する。
情報	情報化の進展が及ぼす影響を理解させ、自律的な理解・態度を育てる。
総合的な探究の時間	自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 社会生活において必要なコミュニケーション能力を高め、他者を理解し、よりよい集団や社会を築こうとする態度を育てる。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

ホームルームを中心とする集団活動から生まれる個人と個人のかかわり合いの機会をできるだけ多く設定し、その取り組みを通して人間としての在り方・生き方を考えさせ、相互理解、他者への尊重・感謝の気持ちなどを培いながら、一人一人の望ましい人格形成を図る。

【学校行事】
・望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活や社会生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
・ボランティア活動や地域の社会活動への参加を通じて、思いやりや奉仕の精神、公共性などにかかわる道徳性を養う。

【生徒会活動】
・集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

公民科

公共

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

生徒指導

1　基本的生活習慣を確立させる。
・規則等の遵守を保護者との連携で行う。
・教師・生徒が校舎内外での挨拶運動を展開する。
2　生命を尊重する姿勢を育てる。
・交通安全や交通マナーについての指導をする。
・薬物の危険についての啓発をする。
・いじめ防止のための運動を展開する。

家庭との連携

・個別面談を通して、生徒の特性について家庭との共通認識を深め、生徒が個性を伸ばし、価値ある人生を追求できるようにする。
・生徒の問題行動や悩み事は、保護者との緊密な連携により解決を図る。

地域社会との連携

・近隣校やPTAとの連携による校外指導で、挨拶の励行や交通マナーの遵守などの社会性を養う。
・教育機関や卒業生と連携して講演会等を実施し、職業観や在り方・生き方を学ばせる。
・ボランティアで地域の環境美化活動を行い、郷土愛や地域へ奉仕する心を育てる。